

第58回北海道高等学校アーチェリー選手権大会 兼 高円宮賜牌
第59回全国高等学校アーチェリー選手権大会北海道予選会
開 催 要 項

主催 北海道高等学校体育連盟
北海道教育委員会
北海道アーチェリー連盟

後援 帯広市
帯広市教育委員会

主管 北海道高等学校体育連盟アーチェリー専門部
帯広アーチェリー協会

当番校 市立札幌啓北商業高等学校

1 期日 令和8年5月27日(水)・28日(木)・29日(金)

5月27日(水)

受付	12:30~13:00
開会行事・諸注意	13:15~13:30
監督主将会議・諸連絡	13:40~13:50
男子・女子用具服装検査	14:00~14:30
男子・女子公式練習	14:40~16:30
*専門委員・顧問会議(状況により中断あり)	15:00~16:00

5月28日(木) <競技第1日目>

受付	8:30~9:00
個人・団体競技予選ラウンド	9:00~12:00
個人競技決勝ラウンド	13:00~16:00

5月29日(金) <競技第2日目>

受付	8:30~9:00
女子団体戦決勝ラウンド	9:00~11:00
男子団体戦決勝ラウンド	11:20~13:20
表彰式・閉会式	14:45~15:00

*タイムテーブルは予定時間のため、天候その他により変更することがあります。

2 会場 帯広の森アーチェリー場 TEL 0155-47-1188
〒080-0856 帯広市南町南7線56番地7

3 競技種目 リカーブ部門 団体競技・個人競技(オリンピックラウンド)

- (1) 予選ラウンドにおいては、団体競技・個人競技ともにWA70m予選ラウンドとし、決勝ラウンド団体競技・個人競技ともにセットポイントシステムによるマッチラウンドとする。
- (2) 個人競技決勝ラウンドには、予選ラウンド上位32名が出場する。
団体競技決勝ラウンド出場校は個人競技予選ラウンドでの上位3名の合計得点で決定する。

4 競技規則 (公社)全日本アーチェリー連盟競技規則2026-2027及び大会運営規定による。

5 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し休学中、留学中の生徒は除く。

- (2) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。
- (3) 選手は、平成 20 年(2008 年) 4 月 2 日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技 3 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする(「出場」とは登録やエントリーではなく試合出場回数を指し、専門部が責任を持って調整・確認する)。大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 次の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。
- ア 部員不足に伴う合同チーム (都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合) 詳細は、(公財) 全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。
- イ 統廃合対象校による合同チーム (統廃合完了前 2 年間に限る)
- (6) 転校・転籍後 6 ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住等やむを得ない場合は、北海道高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りでない。大会開始前のエントリー変更期限前に 6 ヶ月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (8) 選手は令和 8 年度(公社)全日本アーチェリー連盟登録規定により、高等学校競技者として登録を完了し、「AJAF スターバッジ」を取得している者に限る。
- (9) 参加資格の特例
- ア 上記(1)(2)に定める学校以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途定める規程に従い大会参加を認める。
- イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技 3 回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第 72 条、115 条、124 条及び 134 条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会の参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
- (1) 大会参加資格を認める条件
- ア (公財) 全国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
- イ 参加を希望する特別支援学校・高等専門学校・専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
- ウ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
- エ 各学校にあつては、部活動が教育の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
- (2) 大会参加に際し守るべき条件
- ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

6 引率責任者及び監督

引率責任者は当該校の教員で監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。なお、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示された者) も可とする。

7 チーム編成等

- (1) 団体競技 各校1チーム4名以内とする。エントリーは当日行う。
- (2) 個人競技 人数の制限なし。団体競技出場者は個人競技も兼ねるものとする。
- (3) 外国人留学生の参加については、個人競技の参加は制限しない。団体競技はチーム出場枠内で1名まで参加を認める。

8 競技方法

- (1) 予選ラウンド（個人・団体競技予選）
 - ア WA70mラウンド（36射×2回）とする。1標的4名の2立制を基準とし、各エンド3分6射矢取りでおこなう。
 - イ 個人競技決勝ラウンドは最大5セットのセットシステムによるマッチ戦で行い、その結果をもって個人競技の順位を決定する。
 - ウ 団体戦の成績順位は、団体エントリー選手上位3名の個人予選得点合計で決定する。
- (2) 団体競技決勝ラウンド
 - ア 得点記録・矢取りは1セット毎に行う。
 - イ 準決勝までは、1セット2分6射(2射×3名)の同時行射、最大4セットのセットシステムによるマッチ戦で行い、その結果をもって団体競技の順位を決定する。
 - ウ 3位決定戦及び決勝戦は交互行射で行う。

9 得点記録

- (1) 予選ラウンドでは、同標的使用選手の相互得点記録(マーカー)方式とし、選手がスコアカードの記入と携帯端末の操作をする。
- (2) 団体戦決勝ラウンドの3位決定戦及び決勝戦についてはターゲットジャッジが得点を読み上げ、スコアラーが得点記録を行う。出場校はエージェントを立てる。
- (3) 標的の的中孔のL印は得点記入確認後に実施する。
- (4) 得点記録の報告における虚偽の不正申告の場合には、当該標的使用選手の確認が不履行として当該選手または同一標的使用者のすべてを失格処分とすることがある。
- (5) 的中する矢の得点判読と記録の記入は、その矢を所有する者が高得点から順に呼称（判読）し、同標的を使用する他の競技者が高得点から順にスコアシートに記録への記入、端末入力、得点確認をする。

10 参加申し込み

- (1) 申込方法 別紙申込書に必要事項を記入の上、FAX及びメール添付の両方で申し込むこと。あわせて校長職印を押印した原本を大会当日持参すること。
- (2) 締切日 令和8年5月13日（水）必着
- (3) 申込先 〒005-0841 札幌市南区石山1条2丁目15-1
市立札幌啓北商業高等学校 アーチェリー大会事務局
TEL 011-591-2021
FAX 011-591-2023
メール 00215358@sapporo-c.ed.jp （原田 浩明 宛）
- (4) 参加料 1名 2,500円
- (5) 振込先

銀行	北海道銀行
口座番号	店名：真駒内支店 店番：192 預金種目：普通預金 口座番号：0280380
口座名義	市立札幌啓北商業高等学校 大会当番校金 梅澤 謙

11 表彰

- | | |
|-----|----------------------------|
| 個人戦 | 1位～8位 賞状・メダル |
| 団体戦 | 1位 優勝杯（持ち回り・前年度優勝校にレプリカ授与） |
| 距離賞 | 70m36射合計最高得点者（男女） 盾 |

1 2 全国大会出場権

団体競技 男子・女子各優勝校

個人競技 男子・女子各1名（団体戦優勝校以外の個人競技最上位の生徒）

1 3 その他

(1) 服 装

監督・選手の服装は、(公財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部の規定による服装とする。

(2) 競技役員・競技補助員

競技役員は各校の顧問全員にお願いする。詳細は監督会議で連絡する。競技補助員は参加選手にお願いする。

(3) 宿泊および昼食

斡旋はしないため、各校で準備すること。

(4) 医 療

競技中の傷病に対する応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を携行すること。日本スポーツ振興センター災害共済給付金の申請書の準備等については、各学校及び引率責任者で行うこと。